

岡山あいフェスティ



岡山あいフェスティバル'92を終えて

岡山市国際交流祭実行委員会
委員長 能登原 昭夫

今回で3回目を迎え、岡山市民の中にすっかり定着した「国際交流の祭典」は、実行委員や市役所の担当者のお骨折りに加えて、岡大留学生や山陽学園短大生の皆さんのご協力を得て、今年度も無事終了することができました。各方面から暖かいご支援やご援助ともども併せてお礼申しあげます。

さて、年間12～13の事業を通して最も痛切に感じましたことは、国際化もますます進展し、かつ大いに変わりつつあるということです。今さら取り立てて言うべきことではなくなり、ごく日常的なことになっています。モノ、カネ、ヒトの交流はますます盛んになりボーダレスになる一方、「こころ」の交流はいまだによだんだまのところがたくさん残っています。それだけに、次回も構想を新たに「西川アイプラザ」を拠点としてこの事業を推進したいと思います。市民と外国人の方々の身近な触れ合いを通して、形だけの友好や援助ではなく、共に生きていく岡山市民同志として「こころ」の交流を大切にしていきたい。皆様方の一層のご理解とご協力をお願いする次第です。



▲ 「中世ルネサンス音楽の夕べ」
ダンスリー・ルネサンス合奏団による中世ヨーロッパ舞曲とルネサンス・ヨーロッパ器楽曲。



◀ 「琵琶・揚琴による中国音楽」
陶敬韻（琵琶）と張林（揚琴）
両氏による中国の伝統的な調べ。

地球ファミリーランド(下石井公園9/12・13)



▲ オープニング・セレモニー(9/12)



▲ 各国特設ブースが並び、
多くの市民で賑わった。

▼ ステージでは各国お国自慢や
ゲームで交流の輪が広がった。



サロン・コンサート

(西川アイプラザ4階友好交流サロン9/12・13)

バル '92

今回で3回目を迎えた“国際交流の祭典”。本年度は『岡山あいフェスティバル』と名称を改め、開催期間も幅のあるものになりました。本協議会も例年どおり積極的に協力しました。



姉妹・友好都市紹介写真・物産展

(西川アイプラザ4階「展示コーナー」9/12~19)

◀ 岡山市の姉妹・友好都市を写真パネルと物産で紹介した。



こども広場

(西川アイプラザ3階「研修室」9/13)

◀ 岡山市内の小学生、教師、保護者による話しあり、あそびありの自由な広場。外国人子女、帰国子女、市内小学生らが遊び・ゲーム・歌など楽しい一時を過ごした。



出合いを重ねて

岡山市国際交流祭実行委員会
委員 高田 武子

「こども広場」「アフリカからこんにちわ!」などの行事を担当して、心に残る多くの感動を得た。

その一つは「こども広場」を準備する中で、国際理解教育に取り組まれている先生方を知り、先生方の多くのご経験から、素晴らしいご協力をいただき、この企画の趣旨を全うできたことである。集まった子供達(外国人子女13人・帰国子女10人・市内小学生10人・飛入り数名)はこの先生方のお陰で、最初は多少の緊張はあったものの、フィリピンの話やいろんな国のゲームに引きずり込まれ、夢中で遊ぶことになった。限られた時間では遊び足りなくて不満を隠し切れず「こんどは、いつするん?」「またしてくれる?」と訴えた子供達の言葉は、私達に多くの喜びと教を残してくれた。交流は必ずしも大

義名分を掲げなくてもよい。遊びを通して、子供同士が互いに他の国に興味と好奇心をたくましくしていく内に、その国を理解する心を育てていくことを、また私達大人は、心して、そのような場の提供に務めなければならないことを、改めて実感させられたのである。

また「アフリカからこんにちわ!」の講演会では、遠くに感じていたアフリカという国について、またアフリカという地域に限らず、真の援助や開発ということや地球環境への思いを、和やかな雰囲気の中で、講師のサンガ・ンゴイ・カサディ氏と会場にいる皆さんと共に考える一時を持たせたことである。加えて講師のサンガ氏のお人柄に直接接して、氏の心温かさ、前向きな態度、地道に努力する姿勢を知り、このような真摯な心は、国が違って、必ず伝わってくるものだと確信したものでした。

心に残る出会いとまわりの人に心残す出会いを、今後もこの“あいフェスティバル”に期待できればと思っている。

～岡山あいフェスティバル'92～



ハロー！わいわいバスツアー &ほのぼのホームステイ

(足守支所管内10/17～18)

在岡外国人が参加し穏やかな秋のひとときを過ごした。足守近水園を見学し足守保育園児と交流した後、各受入れ家庭に一泊し交流を深めた。翌日は「足守メロンまつり」「全国一宮フェスティバル」への参加、最上稲荷見学後帰路についた。



「岡山あいフェスティバル賞」

市内在住の外国人留学生の財政的支援を目的として、母国の文化・生活などを紹介するエッセイを募集。応募作品38点中、10点が入選、3点が努力賞に輝いた。(表彰式：3/26 岡山東急ホテルにて)

アジア映画フルマラソン

(西川アイプラザ「5階ホール」9/19)

◀ 韓国・マレーシア・タイ・イランの新作映画を上映。岡山ではなかなか見られない名作に多くの市民が感動した。



国際協力フォーラム

(西川アイプラザ「5階ホール」11/7)

◀ 「岡山発/地球貢献」と題して開催。海外からはアジア医師連絡協議会/バングラデシュメンバーのスマナ・バルア氏を迎え、NGO(民間国際協力団体)活動と今後のあり方について考えた。

国際交流講演会

(西川アイプラザ「5階ホール」12/13)

◀ 「アフリカからこんにちは！」というテーマで、アフリカの友国際協会会長サンガ・ンゴイ・カザディ氏を講師に招いて開催。アフリカが身近に感じられる貴重な話を聞くことができた。



第4回ボランティア通訳研修会～国際交流員と共に～



楽しい語らい▶

◀ カナダについての話に熱心に耳を傾ける受講者



8月22日、カナダから来た国際交流員ダグラス・ピーターソンと共に、第4回ボランティア研修会を開催しました。ボランティア通訳、ホームステイ・ホームビジット登録者対象の研修会は、熱気に満ちた3時間余りでした。まず最初に国際交流員からカナダについて英語と日本語で紹介があり、その後小グループに別れて意見交換の場を持ちました。各グループでは、ホームステイの感想、カナダの教育制度についての質問、またボランティア活動に於いての問題点など活発な意見が交されました。

第5回ボランティア通訳研修会～バスツアー早春の一日～

3月7日、通訳ガイド技術の向上を目的に第5回ボランティア通訳研修会を開催しました。瀬戸大橋架橋記念館で瀬戸大橋に関する知識を得た後、与島で咸臨丸に乗船し、小グループに分かれ観光案内の実践を行いました。今回はアドバイザーとして英語・中国語・スペイン語のネイティブ・スピーカーを迎え、活気にあふれる研修会となりました。また、最後円通寺にも立ち寄り見聞を深めました。



▲ 与島にて
(咸臨丸乗船後
記念撮影)

ボランティア通訳研修会に参加して、それから

ボランティア通訳・翻訳登録者
森下矢須之

3月7日(日)、観光バスに乗ってのボランティア研修に参加しました。ボランティアガイドとしてのスキルアップをと瀬戸大橋・円通寺へ意気揚々と乗り込んだ私でしたが、かんじんのスキルアップはそっちのけで、初対面のネイティブ指導員やボランティア通訳仲間の方々と自己紹介や情報交換に終始してしまいました。家に帰って私なりに研修会の反省をする中でそもそもボランティア通訳の役割は、と改めて考えてみました。

そして海外からの来岡者のガイド、あるいはそうした方々との個人的おつきあいで交流を図るといったこと以上に、本当は外国語が苦手という(恐らく現状では大多数の)岡山市民と海外からの来岡者のふれあいのための媒体役を務めることが重要ではないかという結論に達しました。私の家では海外からのゲストが来岡する際に、友人や隣近所の方々も招いたパーティーを時折開きます。

▶ グループに分かれて熱心に実習



外国語が苦手な友人もお開きの頃には海外のゲストと旧知の仲のようになりますし、海外のゲストは大感激、子供達も大ハシャギということが常です。スキルアップの研修会も勿論大切なことと思いますが、上述の様な岡山の人々と海外からの来岡者との垣根のない心のふれあいの演出者になる機会がもっともっとあればと願っています。



▲ 瀬戸大橋の説明をする筆者(左)

勉強家のマークさん

ホームステイ・ホームビジット登録家庭
正野 としの

'92年10月7日～24日の間、サンノゼ市よりマーク・ボドーインさんを我家に迎えました。親しみのある笑顔、勉強家で何にでも興味を示されるマークさん、毎朝歩いて30分かけて市役所へ、そして色々な学びを終え、又歩いて帰宅、帰るとすぐ、その日の行った場所、習ったこと、出会った人々について詳細の報告があり、私の夕食の準備の手も、しばしばストップ、けれども楽しい時間でした。ちょうどその頃、時を同じくして滞在しておられた、テキサス州よりのロータリアン、マックさんと共に、ピアノに合わせて歌を歌った時の楽しさは、忘れることができません。アメリカンフォークソング、讃美歌、クリス



マスソング等、音楽は所を越えて、私達を一つ思いにしてくれました。マークさんはやさしい方でした。お家には奥様バーバラさんと2人のかわいいお嬢さんがいらっしやるとのこと、サンノゼに帰られてから送られてきたご家族の写真とアメリカンカントリーグッズが今も我が家に飾られていて、それを見るたびマークさんのことを思い出しています。

～ボランティア活躍記!!～



通訳を経験して

ボランティア通訳・翻訳登録者
西山 富美子

その日国際ホテルまでタクシーで行った。最後にパーティがあるというので飲酒することがあるかと思ったからである。定刻にバスは発車した。四台のバスを連ねて大型旅行になった。私の乗車したバスは外国の人たちと日本人の人たちの半々であった。打ち合わせの時〈外国語の出来るガイドをつけます〉とメンバーの方がおっしゃっていたのでのんびりと乗車した。が、ガイドさんは日本語しか出来ず何も話さないというのが5分も経過すれば分った。準備していたパンフレットとメモが役に立った。急いでパンフレットを開けて目読した。まず岡山の名産から始めた。知っている限りのことを話すとバスは、倉敷美観地区に入った。ひとりのアメリカ人が案内して欲しいというので御一緒した。大原美術館、い草の話、倉の話、おもちゃ館、アイビスクエアと廻ると、以前チボリガードの時来たことをふっと思い出した。美観地区はいつでも美しく輝いて見えた。次にバスが数十分行くと眼下に秋の瀬戸内海が開けた。ここまで来ると通訳は楽になった。瀬戸内の島々

や瀬戸大橋と見るものが多いからである。予定通り瀬戸大橋に入り、与島で降りて、フィッシャーマンズワープに行くとき又、通訳した。予備知識の不足を痛感しながら正確に伝えようと努力した。みんなもマリゴールドが多い海の側で安らいているように思えた。

ファイナルパーティが児島瀬戸内ホテルで開かれた。まずワインパーティからであった。窓外に見える暮色の瀬戸大橋は初めて見る景観であった。海と瀬戸大橋は夕焼けの中に浮かんで見えた。いよいよ大パーティの開催であった。グループずつに分かれて、ステージに上ってアメリカの歌、日本の歌と歌った。私もGグループのひとりに誘われて〈モモタロウさん〉を合唱した。ステージから降りる時、外国人観光客の二・三人から拍手された。嬉しかった。ある外国人の弁護士さんがピアノを弾いた。ダイナミックな音であった。ある日本人が音符を正確に読んだ。音程もはずれてなかった。感動を覚えた。あの人もこの人も一つになって、大きな輪が出来て大勢で踊りながら歌った。まさにファイナルパーティであった。

ホテルを出るともう真暗だった。帰りのバスの中では眠らずに合唱が続いた。

愉快的なアメリカ人たちだった。秋晴れのこの日はこうして終わった。

ふ れ あ い ト ピ ッ ク ス



◀ パシフィック・ネイバース岡山委員長来岡 (’92.4.9~11, ’92.11.12~14)

パシフィック・ネイバース岡山委員長アラン・ピナー氏が春・秋二度にわたり来岡。今後の交流について協議した。(市長表敬訪問時、写真左端がピナー氏)

岡山県議会プロブティブ市訪問 (’92.5.27~29)

山田録二郎議員を団長、景山真明議員を副団長とする「岡山県議会プロブティブ市及び欧州諸国都市行政視察団」一行17名が姉妹都市縁組20周年を記念してプロブティブ市を訪問し交流を深めた。



◀ 在日ブルガリア大使館一等書記官来岡 (’92.6.18)

在日ブルガリア大使館一等書記官ニコライ・マリニン氏が来岡し、岡山県プロブティブ市姉妹都市縁組20周年記念事業について話し合った。(写真中央がマリニン氏。)一連の記念事業ではブルガリア出身で現在岡山大学留学中のクルモフ・バレリ氏(写真右から3番目)が通訳などで大活躍。



◀ 洛陽市人民代表大会訪日団来岡 (’92.7.6~9)

洛陽市との友好都市縁組締結時の市長、任普恩氏(現在、洛陽市人民代表大会主任)を団長とする一行4名が来岡。市や議会関係者をはじめ多くの人々と旧交を温めた。また、第4回洛陽市技術研修生として来岡中の任麗達さんは任氏の御令嬢で、久しぶりの父娘の再会となった。

☆☆☆ ふれあいトピックス ☆☆☆



◀ 岡山市議会サンノゼ市訪問
(’92.8.27~29)

華房美衛副議長を団長、板野和昭議員を副団長とする「岡山市議会北米諸都市行政視察団」一行16名がサンノゼ市を親善訪問した。
(写真は市役所表敬訪問時、ジョージ・シラカワ サンノゼ市議会議員らと。)

▶ サンノゼ数学大会表彰式
(’92.9.9)

’91年12月14日実施された第24回「岡山・サンノゼ姉妹都市中学生親善交換数学大会」の表彰式が市役所でとり行なわれた。この日はJETプログラム(外国青年招致事業)の英語指導助手として8月に来岡したジャック・チャベス氏(サンノゼ出身)も特別に出席。



▶ 洛陽副市长ら来岡 (’92.11.5~8)

自治体国際化協会主催「アジア・太平洋地域姉妹都市交流会議」に出席のため来日中の白光第洛陽市副市长並びに戴保安洛陽市人民政府外事弁公室副主任が岡山に立ち寄った。岡山滞在中は、環境問題等について関係者と話し合った。



◀ 岡南環境センターで職員の説明に熱心に耳を傾ける白副市長。(左端)

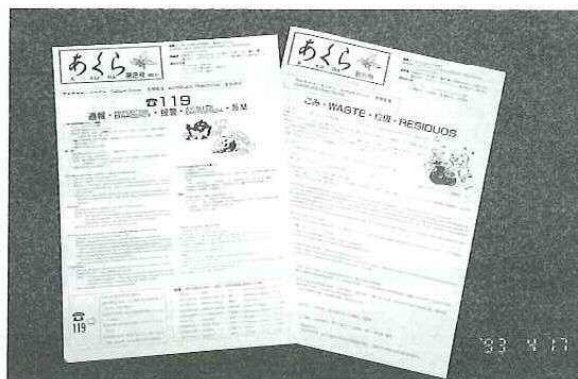


▶ 洛陽市高新技术産業開発区訪日代表团来岡
(’92.11.10~14)

張和儒(洛陽市高新技术産業開発区管理委員会主任)ら一行13名が来岡。滞在中はJETロ岡山事務所主催の中国洛陽市投資説明会に参加し、新たに設立された「洛陽市高新技术産業開発区」への投資促進や技術提携を呼び掛けた。

▶ 外国人向け生活情報誌「あくら」創刊
('92.12.1)

岡山在住の外国人へ生活に密着した情報を提供する目的で英語・中国語・スペイン語・日本語の4か国語併記にした「あくら」を創刊。また2号からはハングルを加えて5か国語にした。「あくら」とは岡山市の市木であるクロガネモチの別称で、西川アイプラザの南に「あくら通り」があることからこのタイトルに決定。



◀ 洛陽市公務員制度視察団来岡
('92.12.16~20)

申景仁洛陽市人民対外友好協会顧問を団長とする一行5名が来岡。公務員制度の導入にあたり、公務員制度について認識を深めるため、岡山市人事課の職員らによる研修を受けた。



▶ はだかまつり見学ツアー
('92.2.20)

岡山あいフェスティバル'92の一環で、岡山の代表的なまつり「西大寺会陽」を在岡留学生と日本人約100人が見学。本協議会もこの事業に協力した。



▶ サンホセ姉妹縁組の夕べ
('92.1.23)

岡山・サンホセ両市の姉妹都市縁組24周年を記念して、岡山サンホセ交流協会主催「サンホセ姉妹縁組の夕べ」が市内の「喫茶サンホセ」で開催。また、1月20日から25日の間、「姉妹縁組サンホセ市展」も開催され、コスタリカの民芸品の展示やコスタリカコーヒーの即売が行われた。



☆☆☆ ふれあいトピックス ☆☆☆

ホットトニ情報

- ・中華人民共和国駐大阪大使クラス総領事千昌奎氏他2名が来岡。(92.4.2)
- ・中華人民共和国中国共産党中央委員会総書記江澤民閣下一行が瀬戸大橋視察のため来岡(92.4.9)
- ・岡山県日中友好協会主催「第2回日中友好祭」が岡山県立体育館で開催。(92.4.10~16)
- ・岡山平成ライオンズクラブ副会長綾野勝二氏ほか一名が洛陽訪問。(92.5.11~15)
- ・サンノゼ市との交流に対して、リーダーズダイジェスト財団並びにシスターシティーズ・インターナショナルから岡山市が表彰を受ける。(92.5.30)
- ・岡山市・岡山サンホセ交流協会主催「中米コスタリカ・サンホセ交流展」が西川アイプラザ4階「展示コーナー」で開催。写真パネルと物産で交流の足跡が紹介された。(92.6.21~30)
- ・洛陽市仏教協会会長・白馬寺方丈 釈海法氏を団長とする「中国仏教文化訪日代表团」一行が7名が「第一回平和祈念大法要」出席のため来岡。(92.6.22~26)
- ・「第5回マーチング・イン・オカヤマ」に参加予定の「ザ・サンノゼ・レイダース」ディレクターのトム・アンドリュース氏他1名が事前打ち合わせのため来岡。(92.6.29~7.3)
- ・岡山市主催の『アジア映画祭<中国編>』が開催され「テラコッタ・ウォリア 泰俑」ほか一本を上映。本協議会も共催した。(92.7.24/25)
- ・松本恒夫氏(教士七段)を団長とする「吉備少年スポーツ少年団」一行7名がサンノゼ剣道創立30周年記念大会に参加するためサンノゼ訪問。剣道大会では第3位に入賞(92.7.31~8.4)
- ・日本ボーイスカウト岡山第1地区から一行21名がサンノゼ訪問。兄弟地区を締結したサンタクララ連盟主催の「シェラ高原国際ランデブーキャンプ'92」に参加し交流を深めた。(92.8.6~23)

- ・岡山平成ライオンズクラブ会長小川儀市氏を団長とする「岡山平成ライオンズクラブ友好訪中団」一行9名が洛陽市を訪問。(92.9.10~12)
- ・日中国交正常化20周年記念岡山祝賀会実行委員会主催「日中国交正常化20周年記念岡山祝賀会」に出席するため王泰平駐日中華人民共和国大使館政治参事官夫妻が来岡。(92.9.14)
- ・岡山商工会議所ヨーロッパ・ブルガリア経済交流視察団一行12名(伊原木一衛岡山商工会議所会頭団長)がプロブディフ市訪問。(92.9.27~30)
- ・岡山市からプロブディフ市にソメイヨシノ100本、カンザン100本、クロガネモチ10本、コブシ30本を寄贈。(92.10)
- ・岡山市議会議員藤原貢氏を団長とする「岡山市日中友好の翼訪中団」総勢142名が洛陽市を訪問。(92.10.5~7)
- ・范金澄洛陽市副市長を団長とする「洛陽市科学技術考察訪日団」一行8名が来岡し、岡山県内の企業を視察し、先端技術・経営等を学んだ(92.10.11~18)
- ・岡山商工会議所所属藤沢末博氏がサンホセ市を訪問。(92.11.16)
- ・洛陽出身の王祖茜氏(就実女子大学中国語非常勤講師)が郭春鋼氏(岡山大学医学部博士課程4年生・医師)と岡山アークホテルでめでたく挙式。(92.11.23)
- ・王承炎氏(昭和57年度岡山市受入れ洛陽市技術研修生)と楊夫人が娘の王祖茜氏の挙式参加のため来岡。(92.11.11~93.1.17)
- ・岡山市・岡山市日中友好協会が主催で郭沫若研究者名和悦子氏を講師に迎え、「郭沫若生誕百年記念講演会」を開催。(92.12.12)
- ・洛陽市名誉市民の中村包行氏(岡山アスコン(株)代表取締役)が加療中の米国にて死去。御冥福をお祈りします。(92.1.15)
- ・方双建洛陽市国際交流友好中心総経理をはじめとする洛陽市観光業務視察訪日団一行4名が来岡。(93.2.19~22)
- ・日本とコスタリカ通商100年にあたり、コスタリカ大使館の依頼を受けて協議会から寄付を行う。(93.3.1)

～おしらせ～

西川アイプラザ「友好交流サロン」も'93年度は2年目を迎え、国際交流の拠点としての充実が期待されます。本協議会では今後、講演会・国際理解講座・日本文化紹介講座・研修会など各種イベントを開催する予定です。お知り合いの方とお誘い合わせの上、是非とも「友好交流サロン」にお越しください。

☆「あくら」編集スタッフ募集

編集、翻訳(中国語・スペイン語・ハングル)を担当して下さる方。経験・年齢・性別・国籍は問いません。

☆ホームステイ・ホームビジット登録家庭募集

日本の家庭生活を体験したい外国の方に、ホームステイ・ホームビジット登録家庭を紹介しています。

詳しくは、友好交流サロンまで TEL 086-234-5882

皆様方の積極的な参加をお待ちしています!!

岡山市国際交流協議会
事務局 〒700 岡山市大供1-1-1
TEL 086-225-4211
内線3312、3316
発行 1993年3月